

(別紙5)

補助事業番号 28-1-114
補助事業名 平成28年度 地域ふれあい交流活動 補助事業
補助事業者名 防府市立華浦小学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

同じ中学校区にある2つの小学校の栄養教諭・保護者・食生活改善推進委員・食の研究者が中心となり、実生活に密着した食の効果、食の安全、伝統的食文化等に関する内容を、各専門の担当者から段階的に地域の子ども達に指導することで、子ども達の生活力を育成するとともに、家庭や地域の連携を図り、食を通じた健康教育の啓発活動を推進する。

(2) 実施内容

ア 発酵食品の効果～乳酸菌の話、味噌・バターづくり～



山口大学教育学部教授の五島先生から、発酵食品についての話を聞いた後、(株)シマヤによるみそ作り講座、(株)船方牧場 みるくたうんによるバター作り講座(バターと発酵バターの違い)を行った。

イ 果物の糖度と加工食品～ジャム作り～



(別紙5)

(株)花の海 イタリアン食堂から講師を招き、加工食品をテーマに、梅・イチゴ・ブルーベリー の3種の果物のジャム作りに挑戦した。

ウ 野菜嫌いも好きになれる簡単野菜料理



『野菜ソムリエ』である柳井さつき氏を講師に迎えて、夏野菜のおいしい食べ方を学んだ。カボチャはレンジで柔らかくして、キュウリやレタス、ヤングコーンなどと一緒にサラダにした。サラダにかけるマヨネーズも今回は自分たちで作ってみた。

エ ふるさと山口の食文化～先人の好物『外郎』作り～



講師に周南市にある水木菓子舗より岩崎龍司氏を招いて、外郎作りに挑戦した。また、場所を和室に移して、石本真司氏からお茶の歴史や抹茶の飲み方についてのお話を聞いた。その後、スタッフから、冷抹茶とねりきりで餡を包んだ和菓子のプレゼントがあり、子ども達は一時の間、日本の伝統を舌で味わうことができた。

オ 食品の化学（3色ホットケーキ）作り



(別紙5)

山口大学教育学部教授の五島先生を講師に迎え、ホットケーキ作りに挑戦した。普通のホットケーキも作ったが、一方で、ブルーベリーを入れて生地を作りフライパンで焼くと、緑色に変化することを学んだ。さらに食べる前にレモン汁をかけるとう緑色から赤く変化するという不思議を体験した。

カ お買い物体験・夕飯作り



スーパーマーケットであるアルクを会場にして、買い物体験を行った。最初に講師から食物の栄養についての説明がなされ、食べ物が自分の体の中でどんな働きをしているのかを学習した。その後、自分で考えた夕飯の献立の材料を、実際に購入する体験を行った。

キ おせち料理を作ろう



山口大学教育学部教授の五島先生を講師に迎え、おせち料理の由来について説明を受け、飾りかまぼこや栗きんとんを作り、自分たちでおせち料理を作り、盛り付けを行った。また、カツオと昆布から出汁をとって、雑煮も作ることができた。

ク 華・華小梅ちゃん弁当作り

(別紙5)



最終回は、自分たちでおにぎり弁当作りを行った。卵焼きやハム巻きなどを作っておかずに添えた。すべての活動終え、スタッフから子ども達一人一人に『フードマイスター』の称号の入った皿が、修了証として渡された。

2 予想される事業実施効果

本事業に参加した2校の小学校の子ども達の多くが、同じ中学校に進学するため、本事業での交流をとおして培われた友情を基盤に、よりよい中学校生活を築いてくれることが期待できる。また、日本や郷土の食文化を学んだ子ども達をとおして、その保護者や周囲の大人に対して、食文化や食習慣を見直そうという啓発活動を行うことができると期待できる。さらに、本事業に関わったスタッフや講師がネットワークを組むことにより、地域や学校教育の場で様々な活動を提案したり、推進したりすることが期待できる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 防府市立華浦小学校（ホウウフシリツカホショウガッコウ）

住 所： 〒747-0816

防府市華浦2丁目2番2号

代 表 者： 校長 小野 素子（オノ モトコ）

担 当 部 署：

担 当 者 名： 教頭 平海 泰政（ヒラミ ヤスマサ）

電 話 番 号： 0835-22-0114

F A X： 0835-22-7765

E - m a i l： <mailto:kaho-e@c-able.ne.jp>

U R L： <http://kaho222.blogspot.jp/>